令和元年７月２３日

書　セ　キ　鈴　～第 13 号～

旭川実業高校 図書局だより

夏休み長期貸し出しについて

７月３日から夏休み長期貸し出しを実施しています。読みたい本がある人や、以前にリクエストしてくれた人、読書感想文に使う本が決まってない１,２年生の皆さんは、ぜひ借りに来てください。３年生の皆さんは就職や進学の面接に向け１冊読んでみませんか?

今月の新着本！！

『ゼロからはじめて安全にとばせるまで　ドローンハンドブック』　森　健司　著

この本一冊でドローンをゼロからはじめて安全に飛ばせるようになります。
基本の操作はもちろん、どういう状況で飛ばすと良いかといった細かい内容も、
イラスト付きでわかりやすく説明。

『しっぽなのぷるる』　やまだ　ひろし　著

悪い人間に捨てられてしまった子猫のぷるるが、お母さんを探す旅に出ます。
狐に食べられそうになったり、熊に助けられたりしながら、
違う人間に拾われるぷるる。
その後は幸せな暮らしができたのか…拾ってくれた人との生活は…？

『鹿の王　水底の橋』　上橋　菜穂子　著

黒狼熱（ミッツアル）大流行の危機が去り東乎瑠（ツオル）帝国では、
次期皇帝争いが勃発。様々な思惑がうごめく中で、
天才医術師ホッサルは清心教医術の驚くべき歴史を知ってしまい…？
医療サスペンス『鹿の王』（2015 年本屋大賞）外伝。

『ちいちゃんのかげおくり』　あまん　きみこ　話／上野　紀子　絵

小さな女の子が空襲で家族と離れ、ひとりぼっちになってしまう話。
命のはかなさ、戦争の悲惨さを描いた絵本。

『おはじきの木』　あまん　きみこ　話／上野　紀子　絵

戦争によってもたらされたげんさんの癒されることのない
悲しみと心の傷を静かな言葉と絵で描いた絵本。

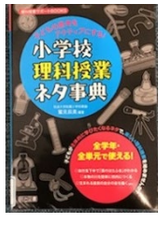
『京都でひっそりスピリチュアル』　桜井　識子　著

パワースポットの多い街　京都。その中から著者おすすめの
寺･神社の情報が、いっぱい詰まったガイドブック。
筆者が京都の神仏との交信で得た、おもしろく、
ためになる話も掲載。修学旅行の下調べに是非！！

『すごいね！みんなの通学路』　ローズマリーマカーニー　著

日本以外の国の危ない通学路や変わった通学路などが
写真とともに紹介。

『小学校　理科授業ネタ事典』　鷺見　辰美　著



小学校で習う理科の学習課題ネタ、実験･観察ネタ、を集めた本。

『ンブフルの丘』　澤田　展人　著

交通事故で同乗者の女性を死なせてしまった亮次。
幼少時に母親から虐待を受けていた恭介。生きづらさを抱える男たちの人生は交差し混じり合い、そして引きつけあう。
私達のこころを強く打ち、激しく揺さぶり、やがて静かな余韻を残す挫折と再生の物語。

『宇宙遊星間旅行』　中江 嘉男　上野 紀子　著

チコはいつも望遠鏡を持っていた。もしチコが斜視でなかったら、こんなにも望遠鏡を持ち歩いたりはしなかったであろう…。
自己とは何かに迫るストーリーと、見るものを魅了する美しい絵が、読み手を深遠なる世界へ導きます。30 年以上の時を経ても、色あせない、著者渾身の一作。

『ゴリラの森、言葉の海』　山極 寿一　小川 洋子　著

野生の眼を持つ霊長類学者と人の心の森に分け入る小説家。
野生のゴリラを知ることは、人が何者か自らを知る事。
野生の思考と小説家の言葉が響き合いゴリラと人が紡ぐ物語。

『響　小説家になる方法』⑫　柳本　光晴　著

ふみが編集長となる新しい雑誌『雛菊』の企画は、新文芸誌の創刊ということで力が入り、雑誌社側も９月の創刊号には響の新作をぜひ巻頭に載せたいと意気込んでいたが…。
ふみが受験生の響を気遣い中学の時に書いた小説を出してはどうかと勧めたが、新しい小説を書きたいといった。その裏ではお伽の庭のマンガ化が響の許可なく進んでいた。

（①～⑪配架中）